

単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- ・目的に応じてデータを収集し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する。（学校図書館等の活用でつきたい力）
 - ・課題に適した効果的な資料を収集する。
 - ・課題解決に向けた情報を取捨選択する。

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP 4, C-STEP 4

G-STEP 4, Q-STEP 4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全 12 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (2 時間)	○課題設定 ・単元の流れと単元課題「全世界が SDGs の目標達成に向けて確実に進歩しているのか？」の確認を行う。 ・図書資料を使って、単元課題を数学的な視点から検討する。(☆) (本時)
第 2 次 (9 時間)	○課題解決に向かうために必要な知識・技能の習得 ・課題の根拠を、度数分布表やグラフを用いて示すことができるように、授業を展開する。 ○単元課題解決に向かうための情報収集 ・単元課題に対して、根拠を持って示すことができるように図書資料や GIGA 端末を用いて課題に沿った情報（数値）を収集する。(☆) ・収集した情報（数値）を度数分布表やグラフにまとめる。
第 3 次 (1 時間)	○まとめ ・まとめた度数分布表やグラフから特徴を捉え、SDGs の課題が解決に進んでいるのか考察する。 ・課題に対して収集した情報（数値）を活用し、結論づける。 ・日ごろから自分たちにできることを考え、今後につなげていく。

本時のねらい

- ・学校図書館にある資料を活用し、全世界が SDGs の目標達成に向けて確実に進歩しているといえるのか考える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (15 分)	1. 単元計画を確認する。 ・単元の流れと単元課題の内容を確認する。	・単元課題を解決するためには、どのような知識やスキル（技能）が必要か考えるように促す。
展開 (30 分)	2. 単元課題に取り組む。 ・SDGs について確認し、単元課題に関連する図書資料を友だちと協力しながら選択する。 ・単元課題を解決するために、図書資料に記載されているデータ（数値）をもとにして、自分の考えをまとめる。 ・単元課題を解決するために必要な知識や技能が何か考える。	・学校司書と事前に相談し、SDGs に関する図書資料を集めておく。多角的に考察できるように、効果的なデータ（表やグラフ）が記載されている資料を集めておく。
まとめ (5 分)	3. 単元課題を解決するために必要なものを考える。 ・必要な知識や技能を精選して、どんな知識や技能が必要か明確にする。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

■授業づくり

- ・単元課題を解決するための知識や技能を、数学の授業で身に付け、活かすことができるように指導する。
- また、毎回の授業で、表やグラフの傾向や特徴を読み取って、理由（根拠）を明らかにして説明できるようにする。

■学校図書館司書との連携

- ・図書資料を選ぶ上で、生徒が多角的に考察できるようにデータが記載された内容や経年変化が分かるように、最新の本から少し古めの本までそろえることで、文章やデータから、表やグラフを作ることができるようになる。



図書資料から情報を読み取り、
単元課題に対して考察している様子